

日本整形外科学会教育研修単位一覧

第 52 回日本人工関節学会

(☆) 印はオンデマンド配信受講による単位申請が可能です。

文化講演

No.	演題名	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	必須 分野	日整会 認定番号 21-1631-	
1	将来の自動車戦略に欠くことができない グリーンエネルギー政策	藤村 俊夫	P261	1	26日 13:15~14:15	N	14-5	032	(☆)

特別講演

No.	演題名	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	必須 分野	日整会 認定番号 21-1631-	
1	我が国の人工関節研究： 本学会の果たすべき役割	松田 秀一	P265	1	25日 10:40~11:40	N	14-5	004	(☆)

教育研修講演

No.	演題名	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	必須 分野	日整会 認定番号 21-1631-	
1	THA の成績向上と残された課題	松原 正明	P315	1	9:30~10:30	N	6,11	003	(☆)
2	世界の THA レジストリーから見えてくる成績 の決定要因	秋山 治彦	P315		15:00~16:00	N	11	015	
3	人工関節周囲感染の予防・診断・治療 ～最近のエビデンス～	小林 直実	P316		16:20~17:20	N	6	017	
4	先端技術が支える人工股関節全置換術の未来	菅野 伸彦	P316	8	25日 8:00~9:00	N	1,11	001	(☆)
5	Extended reality (XR) : 仮想現実 (VR), 拡張現実 (AR), 複合現実 (MR) とロボット支援手術・ナビ ゲーション・ホログラムガイド	杉本 真樹	P317						
6	THA 素材の改良と長期成績	園畑 素樹	P317						
7	THA のトータルマネジメント：患者満足度向 上のためのキーポイント	藤田 裕	P318						
8	TKA における術前計画と術中手技：良好なア ライメント獲得のための工夫	水内 秀城	P318	1	25日 15:00~16:00	N	6,12	016	(☆)
9	TKA 術後キネマティクスとスポーツ復帰	河野 賢一	P320						
10	TKA・UKA 後のスポーツ活動はどこまで可能 か	龍 啓之助	P321						
11	人工膝関節手術における安全な周術期マネー ジメント - 患者満足度のために今できること -	井上 紳司	P321	1	25日 14:40~15:40	N	12,13	033	(☆)
12	当院における人工膝関節手術の周術期マネジ メント～患者安全と満足度向上を目指して～	東 秀隆	P322						
13	さまざまな高難度初回 THA における再建の実際 - 特殊形状、強直股から骨切り併用まで -	大谷 卓也	P322	8	26日 15:50~16:50	N	6,11	037	(☆)
14	低侵襲を目指す様々な THA アプローチ	平川 和男	P323						
15	愛媛大学カダバートレーニングセンターでの取 り組み - 手術教育、解剖学的研究、次世代人 工膝関節の開発 -	日野 和典	P325						
16	日本人工関節学会カダババーサージカルトレー ニングセンターの実施計画	名越 智	P325	8	26日 14:40~15:40	N	11,12	034	(☆)

ランチョンセミナー

No.	演題名	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	必須 分野	日整会 認定番号 21-1631-	
1	How can we improve outcome in arthroplasty?	Martin Thaler	P337	1	25日 12:00~13:00	N	11,6	011	(☆)
2	A new Patient Specific Alignment Philosophy to achieve patient satisfaction in Total Knee Arthroplasty.	Andrew M. Star	P337	4		N	6,12	012	(☆)
3	Kinematic Alignment: a personalized solution for Total and Partial Knee Arthroplasty	Charles C.J. Riviere	P338	5		N	6,12	006	(☆)
4	Kinematic Alignment: a personalized solution for Total and Partial Knee Arthroplasty	福島 重宣	P338						
5	THA アプローチにおける軟部組織保護：組織治癒の基礎科学の観点から	鉄永 智紀	P339	6		N	1,6	007	(☆)
6	人工肩関節置換術アプローチにおける軟部組織保護：組織治癒の基礎科学の観点から	美船 泰	P339						
7	FINE 人工足関節置換術のポテンシャル	平尾 眞	P340	7		N	6,12	013	(☆)
8	Anterolateral アプローチ人工股関節全置換術における Barbed Suture を用いた前方関節包修復の効果	赤石 孝一	P340	8		N	6,11	008	(☆)
9	股関節後方系進入における関節包靭帯の制動効果と修復意義	高尾 正樹	P341	9		N	6,12	009	(☆)
10	Survivorship & Patient Satisfaction Rate of Robotic-Assisted Unicompartmental Knee Arthroplasty	Martin W. Roche	P341						
11	Robotics による Partial Knee Arthroplasty 国内初期の臨床経験	石田 一成	P342						
12	MPC ポリマーと人工股関節への応用 - AQUALA study と治験後 10 年フォローでの成績を中心に -	茂呂 徹	P342	10		N	6,11	014	
13	Kinematic alignment 手技により患者個々の TKR (True Knee Resurfacing) を目指して	曾田 是則	P343	12		N	6,12	010	
14	Kinematic Alignment (KA) 法による Total Knee Arthroplasty (TKA) の可能性と課題	椎木 栄一	P343						
15	変形性股関節症の病態と疼痛メカニズム	園畑 素樹	P344	1		N	11	027	
16	仰臥位 THA における術中 C アーム使用の有用性 - 脚長とオフセットの同時再現を目指して -	寺山 弘志	P344	4	N	6,11	022	(☆)	
17	Anterolateral Supine アプローチ THA における image 画像を使ったデジタル手術支援ツールの有用性	鉄永 智紀	P345						
18	次代の先生方と考える TKA 設計図 (術前計画) の描き方 ~ Patient Specific Alignment の重要性 ~	高柴 賢一郎	P345						
19	各国レジストリーから見た THA インプラントの選択	藤代 高明	P346	6	N	6,12	023	(☆)	
20	Ceramicised Metal って、使ったほうがいいのか？ - インプラント選択における今後の可能性 -	名越 智	P346						
21	THA を行う医師が知っておくべき共通言語としての基礎知識	久留 隆史	P347	7	N	11	029	(☆)	
22	次世代ポータブルナビゲーション "IntelliJoint HIP system" for supine THA	川崎 雅史	P347	8	N	6,11	024	(☆)	
23	新たなポータブルナビゲーション登場！ - IntelliJoint HIP その側臥位手術での実力は？ -	阿部 功	P348						

24	側臥位前側方アプローチによる THA - 最新の知見をどのように手術手技に適用するのか? -	松原 正明	P348	9	26日	12:00~13:00	N	6.11	025	(☆)
25	仰臥位前側方アプローチによる THA - 最新の知見をどのように手術手技に適用するのか? -	後東 知宏	P349							
26	THA: 白蓋設置のエトセトラ	仁平 高太郎	P349	10			N	6.11	030	(☆)
27	Collared Full HA Stem の魅力と新しい国産ステムの開発	金 光成	P350	11						
28	Collared Full HA Stem の魅力と新しい国産ステムの開発	老沼 和弘	P350							
29	逆襲の Tapered wedge stem ~なぜ Flat Tapered Wedge スタムが Gold Standard であり続けるのか? ~	加畑 多文	P351	12			N	6.11	031	

イブニングセミナー

No.	演題名	講師	抄録	会場	日時	単位種別	必須分野	日整会認定番号 21-1631-
1	Revision TKA - 包括的、系統的診断による治療の選択	水野 清典	P351	12	25日 16:40~17:40	N	6.12	018

モーニングセミナー

No.	演題名	講師	抄録	会場	日時	単位種別	必須分野	日整会認定番号 21-1631-
1	最新のガイドラインからみた RA の骨粗鬆症と痛みに対する治療アプローチ	西田 圭一郎	P352	6	26日 7:50~8:50	N,R	4.6	019

<日本整形外科学会専門医資格継続必須分野番号>

(S) スポーツ単位

(R) リウマチ単位

(SS) 脊椎脊髄病単位

(Re) 運動器リハビリテーション単位

[1] 整形外科基礎科学

[2] 外傷性疾患 (スポーツ障害を含む)

[3] 小児整形外科疾患 (先天異常、骨系統疾患を含む、ただし外傷を除く)

[4] 代謝性骨疾患 (骨粗鬆症を含む)

[5] 骨・軟部腫瘍

[6] リウマチ性疾患、感染症

[7] 脊椎・脊髄疾患

[8] 神経・筋疾患 (末梢神経麻痺を含む)

[9] 肩甲帯・肩・肘関節疾患

[10] 手関節・手疾患 (外傷を含む)

[11] 骨盤・股関節疾患

[12] 膝・足関節・足疾患

[13] リハビリテーション (理学療法、義肢装具を含む)

[14-1] 医療安全

[14-2] 感染対策

[14-3] 医療倫理

[14-4] 保険医療講習会、臨床研究 / 臨床試験講習会、医療事故検討会、医療法制講習会、医療経済 (保険医療を含む) に関する講習会、地域医療 / 医療福祉制度に関する講習会

[14-5] 医学全般にわたる講演会などで、14-1 ~ 14-4 に当てはまらないもの

(14-1 ~ 4 は機構認定専門医共通講習、14-1、2、3 は機構認定専門医必修講習)